

# 連携 産業界



中部大学ESDエコマネーチームは学生主体で開発した標準化教材を用いて産業界向けに標準化教室を開催しています。



## 日本経営士会

国際標準化、標準化教育を所轄しています。

2011年以降連携しています。コンサルタントの団体で、中小企業への環境マネジメント及び関連分野の支援で連携しています。中小企業の環境マネジメントシステム構築の支援のためにチームが開発した標準化教材「もし社長だったら」を活用しています。



## 日本環境取引機構（エコステージ協会）



2011年以降連携しています。環境マネジメントシステムの認証スキームであるエコステージを運営しています。中小企業の環境経営支援を行っています。チームが開発した教材を活用したセミナー等で連携しています。

2019年にエコステージに参加している企業とエコステージ会員を対象にSDGs ワークショップを実施しました。ワークショップでは、2018年度中部大学ESDエコマネーチームの学生が作成した標準化教材である「[世界を救え～save the world～](#)」の実演と、5年後までに実際に自社で行うSDGs目標のグループワークを行いました。



## グリーン購入ネットワーク



SDGs標準化教材である「[世界を救え～save the world～](#)」の実演を行いました。参加者は愛知県、岐阜県、三重県、名古屋市、刈谷市であり、SDGsボードゲームをしながら自分の所属している県や市では、どのような問題を抱えており、どのように解決をしているのかをグループワークにて討論しました。

環境問題に関する知識を非常に高いレベルで有していたため、カードに書かれている問題に対して、積極的に討論を行っていました。また、参加者から「自分の県や市で行っている取り組みを伝え合うことによって、お互いに考えたこともなかったアイデアを得ることができ、とても建設的な話し合いの場となった。」というような感想をもらうことができました。



## 日本青年会議所 愛知ブロック, 刈谷青年会議所

2019年以降連携しています。2019年は愛知ブロックと連携を行いました。2019年は日本青年会議所がSDGsをテーマとしています。愛知ブロックでは、SDGsの研修を行いました。

とうかい号でのSDGsの研修と発表会を計画する段階で、研究室を訪問した事務局に対して [世界を救え\(SDGs+超スマート社会\)](#) を用いた実演を行いました。青年会議所は企業の経営者により構成しており、それぞれの企業にどう当てはまるかを検討しました。

2020年は刈谷青年会議所と連携し、刈谷市の小学生と中学生を対象とした [HIKARIYAプロジェクト](#) を実施しました。 [まもる君\(リスクマネジメント+SDGs\)](#) の教材を用いて講義とグループワークを行いました。コロナ禍のためZOOMを用いた実演となりました。

参加者は医療、自動車、食品、市長から産業を選び、経営者としてリスクマネジメントを体験しました。気候変動、災害、感染症等の対策案が出されました。

ホーム  
HOME

刈谷JCTとは  
ABOUT

事業案内  
INFORMATION

活動報告  
AFTER FOLLOW

入会案内  
WELCOME

会員専用  
MEMBER

[トップページ](#) > 第2回青少年育成事業「HIKARIYA【ヒカリヤ】」を開催しました

## 第2回青少年育成事業「HIKARIYA【ヒカリヤ】」を開催しました

2020年

10月4日

(一社) 刈谷青年会議所

第2回青少年育成事業「HIKARIYA【ヒカリヤ】」を開催しました。

全4回のうちの第2回目となる今回は、新型コロナウイルス感染症対策のためZOOMを用いて実施されました。

中部大学 准教授 伊藤佳世氏を講師にお招きしご講演をいただくとともに、中部大学ESDエコマネーチームの学生みなさまにファシリテーション等のご協力をいただき、プレイクアートルーム機能を用いたグループワーク形式で中部大学ESDエコマネーチーム考案のゲーム「まもるくん〜Guard the Risk〜」をプレイしながら、子どもたちとともにSDGsおよびリスクマネジメントへの認識を深めることができました。





文部科学省

# 地(知)の拠点

## 地域連携：学生主体によるマネジメント分野 の標準化教材を活用した地元企業の支援

### もし社長だったら ISO14001



#### ルール説明用

- 次の人に山札から4枚カードを引かせることができる  
10種類のカードの色を変えることができる  
横の色を変えることができる
- 次の人に山札から2枚カードを引かせる
- 出された悪いカードの効果を消せる。次の人が出す色はこのカードの色になる
- 自分に影響のあるカードの効果を消すことができる
- 順番を逆回りにできる
- 次の人がカードを出すことを止めることができる
- 山札から新しく横にカードを出すことができる

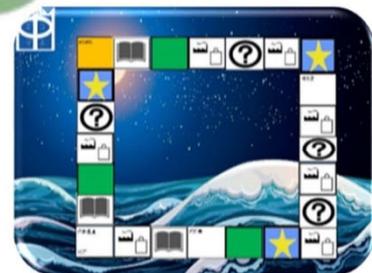
### 標準って何



### 会社を守ろう ISO22301



### せきにな ISO26000



### ものづくり ISO9001



**中部大学ESDエコマネーチーム**：ESD活動として環境マネジメントおよび関連分野の標準化教育を実践し、環境および標準化人材育成に取り組んでいる学生団体



# 地元企業向け標準化教室春日井市内企業と中部大生の融合～ISOで繋がる地域連携プロジェクト～

2015年11月2日 中部大学で中部地域産業の活性化を目的に春日井市および中部地域の皆様を対象とした標準化教室を開催しました。講演とワークショップで構成しました。

日本規格協会の富田朝仁氏による基調講演「ISO14001およびISO9001の改訂について」、中部大学の伊藤佳世准教授による「中部大学における環境マネジメントおよび関連分野の標準化教室」の講演後、以下の教材を用いた標準化教室を開催しました。

- もし社長だったら (ISO14001：環境マネジメントシステム)
- 会社を守ろう (ISO22301：事業継続マネジメントシステム)
- せきにん (ISO26000：社会的責任)
- ものぶろ (ISO9001：品質マネジメントシステム)

**地元企業向け標準化教室**  
**春日井市内企業と中部大生の融合**  
 ～ISOで繋がる地域連携プロジェクト～  
 地域連携：学生主体によるマネジメント分野の標準化教材を活用した地元企業の支援

※日程：講演  
**平成27年 11月2日(月)**  
 9:00～12:00  
 中部大学22号館メイン会場  
 22号館2215  
 221A-D  
 中部大学 春日井キャンパス  
 春日井市大平5-1-1 (115.67°E, 36.32°N)  
 参加無料

※講師：講演  
 富田朝仁氏 (日本規格協会)  
 伊藤佳世准教授 (中部大学)  
 伊藤佳世准教授 (中部大学)  
 E-mail: chubu\_esd\_team@chubu.ac.jp TEL: 0565-31-3958 (直通)



## 「働きやすい職場」労働安全衛生マネジメントシステム

2017年2月11日に中部大学で中部地域から働きやすい職場づくりを広げていくために、地元企業（特に中小企業）向けに労働安全衛生について様々な立場から考える力を養うための標準化教室を開催しました。講演とワークショップで構成しました。

日本規格協会千葉裕介氏に規格の専門家として、規格制定の経緯、規格開発進捗、規格の概要、第三者認証の活用、他のマネジメントとの関係についてお話いただきました。

中央労働災害防止協会 森田晃生氏に労働安全衛生の専門家として、ISO45001を活用して安全衛生水準を上げるためのポイントとして内容面について、組織の状況把握、機会の特定、目標設定、継続的改善についてお話いただきました。

第二部では中部大学の伊藤佳世准教授による「中部大学における環境マネジメントおよび関連分野の標準化教室」のあと、労働ウォッチ (ISO45001：労働安全衛生マネジメントシステム) を用いた標準化教室を開催しました。

**「働きやすい職場」労働安全衛生マネジメントシステム**  
 2017/2/11  
 中部大学 リサーチセンター  
 13:00 - 17:00  
 伊藤佳世 (中部大学 経営戦略学部教授)  
 E-mail: chubu\_esd\_team@chubu.ac.jp  
 TEL: chubu-esd@chubu.ac.jp

※講師：講演  
 千葉裕介氏 (日本規格協会)  
 森田晃生氏 (中央労働災害防止協会)  
 「労働ウォッチ」講演  
 ISO45001 準拠ゲーム

「働きやすい職場」労働安全衛生マネジメントシステム  
 学生主体のマネジメント分野の標準化教材を活用した地元企業・若年層支援

※講師：講演  
 千葉裕介氏 (日本規格協会)  
 森田晃生氏 (中央労働災害防止協会)  
 「労働ウォッチ」講演  
 ISO45001 準拠ゲーム

※講師：ワークショップ  
 伊藤佳世准教授 (中部大学)  
 E-mail: chubu\_esd\_team@chubu.ac.jp TEL: 0565-31-3958 (直通)



# 「超スマート社会の実現に向けた標準化と地域における実践」

2017年2月11日に中部大学で標準化教室を開催しました。

IoTによる技術革新を取り込みながら、情報社会に次ぐ「超スマート社会」を実現するためにエネルギーの好循環を図るバリューチェーン、中でも「エネルギー管理の標準化とスマートシティ」に焦点を当て、日本の標準化戦略、地域における実践を通じて、未来社会の在り方を学びます。講演とワークショップで構成しました。

日本規格協会 千葉裕介氏に規格の専門家として、超スマート社会の実現に向けた国際標準化動向、エネルギー管理及びスマート関連に焦点を当てて日本の標準化戦略をお話いただきました。

豊田市役所未来都市推進課 杉浦栄紀氏にスマートシティに取り組む豊田市の取り組み、環境モデル都市、エコフルタウンを事例に超スマート社会の在り方をお話いただきました。

第二部では中部大学の伊藤佳世准教授による「学生主体の標準化教室」のあと、エネマス君（ISO50001 エネルギー管理システム）を用いた標準化教室を開催しました。

**「超スマート社会の実現に向けた標準化と地域における実践」**

2017/11/11(土)

入場無料

中部大学 リサーチセンター

9:30 開場 10:00-12:30 開催

伊藤佳世 経営情報学部准教授

杉浦栄紀 豊田市役所未来都市推進課

千葉裕介 日本規格協会

プログラム

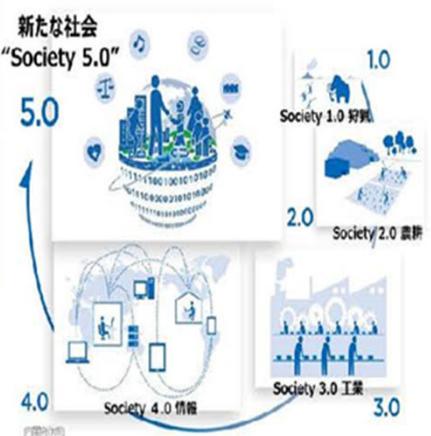
9:30 開場・受付開始

10:00-10:45 第1部 千葉裕介氏による「日本の標準化戦略」

10:45-11:30 第2部 杉浦栄紀氏による「スマートシティの実現に向けた標準化」

11:30-12:00 第3部 エネマス君を用いた標準化教室

# SDGsと超スマート社会の標準化教育: SDGs and Smart Society



中部大学 ESGシンポジウム

ビジネスにおける持続可能な開発目標 (SDGs) とルール形成

3回シリーズ

参加要項

第1回 8.4 (土) 中部大学 経営情報学部 ESGシンポジウム

第2回 8.24 (土) Aスマート社会の実現に向けた標準化とSDGs

第3回 10.27 (土) 豊田市役所未来都市推進課

お問い合わせ

TEL: 0568-51-4585 FAX: 0568-51-4736

# 「ビジネスにおける持続可能な開発目標 (SDGs) とルール形成」 (第19回~第21回 中部大学ESDシンポジウム)

Society5.0(超スマート社会)の実現や国連が掲げる持続可能な開発目標 (SDGs) をいかに達成するかは重要な課題です。中部大学国際ESDセンターと連携し、3回連続で産業界を対象にルール形成である「国際標準化」の最新動向を学びながら企業経営のあるべき姿を検討するシンポジウムを開催しました。

基調講演とポスターセッションの二部構成にしました。基調講演では超スマート社会や持続可能な開発目標 (SDGs) に関する国際標準化について、第一線で活躍する専門家をお招きし、最新動向を紹介いただきながら、企業経営のあるべき姿を検討しました。ポスターセッションでは関連する標準化教材を用いた標準化教室を開催しました。

2018年8月4日「企業行動憲章とSDGsに関する企業の取り組み」

関正雄氏 経団連企業行動憲章タスクフォース座長ISO26000エキスパートをお招きし、企業行動憲章とISO26000の全体像と産業界の動向、未来志向で企業のあるべき姿を検討しました。Society for SDGsの全体像と産業界の動向について講演いただきました。未来志向で企業のあるべき姿を検討しました。

ポスターセッションではISO26000の標準化教材「せきにん」を用いた標準化教室を開催しました。

2018年8月24日「スマート社会の実現に向けた標準化とSDGs」

市川芳明氏 IEC/TC111電気・電子機器システムの環境規格議長、ISO/TC268/SC1スマート都市インフラ議長をお招きし、ISOやIECにおけるSDGSや超スマート社会に関する国際標準化の最新動向とビジネスに「攻めの標準化」を検討しました。

ポスターセッションではSDGS+Society5.0の標準化教材「世界を救え Save the World」を用いた標準化教室を開催しました。

2018年9月27日「持続可能な調達に関する国際規格」

富田秀実氏 ISO20400エキスパートをお招きし、持続可能な調達の国際規格の内容とサプライヤーへの影響、SDGSの時代における調達の在り方を検討しました。

ポスターセッションでは持続可能な調達の標準化教材「世界を変えるにはYou can change the World」を用いた標準化教室を開催しました。



# 標準化教材の入手方法

## How to get Teaching materials of standardization

すべての教材を無償公開

All teaching materials are available for free



[https://researchmap.jp/kayo\\_ito/works](https://researchmap.jp/kayo_ito/works)



伊藤佳世研究室

Kayo Ito Lab HP



中部大学ESDエコマネーチームFB

Chubu University ESD Eco Money team



中部大学ESDエコマネーチームtwitter

Chubu University ESD Eco Money team



中部大学ESDエコマネーチーム  
春日井市松本町1200  
中部大学経営情報学部  
伊藤佳世研究室  
Tel 0568 51 9968  
Fax +41 22 999 0002  
[https://www3.chubu.ac.jp/faculty/ito\\_kayo/](https://www3.chubu.ac.jp/faculty/ito_kayo/)

